

平成23年度 教育委員会 第8回定例会 議案

1 日 時 平成23年7月21日（木） 午後2時

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

<非>第12号議案 静岡県立中央図書館協議会委員の任命

…非公開

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第 8 回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	平成 23 年 6 月県議会定例会の答弁状況	1
2	中学校用教科書及び一般図書調査研究報告書の配布	5
3	平成 24 年度静岡県公立高等学校入学者選抜実施要領	6
4	平成 24 年度静岡県立中学校入学者選抜実施要領	8
5	平成 23 年度「発達障害等の生徒支援調査研究事業」 モデル事業の概要	9
6	モンゴル青年交流	13
7	「夏休み子ども図書スペシャル」の開催	15
-	8月の主要行事予定	16
8	県立学校の放射性物質の調査結果	17

平成 23 年 6 月 県議会定例会の答弁状況

(教育総務課)

1 本会議 (6月28日～7月1日)

No.	質問者	質問項目	答弁者 (所管課)
1	大石 哲司 (自改、牧之原市・榛原郡南部)	震災を踏まえた人づくりについて 震災から得た教育観	教 育 長 (教育総務課)
2		〃 子供を守る防災管理	教 育 長 (教育総務課)
3	野澤 義雄 (民主・浜松市北区)	東日本大震災後の富国有徳の理想郷“ふじのくに” づくりについて 人づくり	知 事 (教育政策課)
4		子供たちの命を守る安全教育・安全管理について	教 育 長 (学校教育課)
5		地震・津波対策について 防災教育の強化	教 育 長 (教育総務課)
6	前林 孝一良 (公明、静岡市駿河区)	確かな学力の育成について	教 育 長 (学校教育課)
7		公立高校における日本史の必修化について	知 事 (学校教育課)
8		ニート対策について 子供、若者の育成支援に対する取り組み	教 育 長 (社会教育課)
9	小野 達也 (自改、伊東市)	静岡県教育振興基本計画の具体的な進め方について	教 育 長 (教育政策課)
10		国歌斉唱・国旗掲揚について	教 育 長 (学校教育課)
11	中野 弘道 (自改、焼津市)	新学習指導要領における学校現場の状況について	教 育 長 (学校人事課)
12		教科書採択について	教 育 長 (学校教育課)
13	小長井 由雄 (民主、静岡市葵区)	学校の津波対策について	教 育 長 (学校教育課)
14	中谷 多加二 (自改、浜松市天竜区)	天竜地区新構想高校の教育について	教 育 長 (学校教育課)
15	増田 享大 (自改、掛川市)	子供たちを取り巻く環境の整備について 学校施設の耐震化	教 育 長 (財 務 課)
16		〃 若手教職員の育成	教 育 長 (教育政策課)
17	佐野 愛子 (民主、藤枝市)	震災を踏まえた理想のふじのくにづくりについて ふじのくにの人づくり	知 事 (教育政策課)

No.	質問者	質問項目	答弁者 (所管課)
18	佐野 愛子 (民主、藤枝市)	学校の避難経路と避難所としての支援	教 育 長 (教育総務課)
19		食育の推進について 栄養教諭配置の成果と拡充	教 育 長 (学校教育課)

※ 質問・答弁の要旨は別紙のとおり

2 常任委員会（7月5日、6日）

No.	質問者	質問項目	答弁者
1	塚本大 (自改、焼津市)	教職員の不祥事根絶に対する決意と学校へのケア	教育長 教育総務課長
2		第90号議案 静岡県一般会計補正予算 県立学校緊急津波対策事業費	教育長
3		// 県立高校太陽光設備設置事業費	財務課長
4		// スクールカウンセラー活用事業費	学校教育課長
5		市町立小中学校の耐震化	財務課長
6		各学校の部活、体験活動等における安全管理体制の再点検	学校教育課長
7		今後の防災教育、災害発生時の保護者への引き渡しのあり方	教育長 教育総務課長
8		中学校の教科書採択	教育長 学校教育課長
9	曳田卓 (民主、沼津市)	学校の防災機能	教育総務課長
10		第90号議案 静岡県一般会計補正予算 県立高校太陽光設備設置事業費	財務課長
11		発達障害等の生徒支援調査研究事業によるモデル事業	高校再編整備室長
12		トップアスリートの支援	スポーツ振興課長
13	渥美泰一 (自改、浜松市北区)	第90号議案 静岡県一般会計補正予算 高校生被災地ボランティア等活動事業費	教育総務課長
14		// 県立学校緊急津波対策事業費	財務課長
15		日中青年代表交流発展事業	社会教育課長
16		小学校外国語活動	学校教育課長
17		中高一貫教育、小中一貫教育	学校教育課長
18	天野進吾 (自改、静岡市葵区)	「光奏でる友と」の開催の経緯	社会教育課長
19		懲戒処分の基準	学校人事課長

No.	質問者	質問項目	答弁者
20	四本 康久 (民主、富士宮市)	小学校外国語活動	学校教育課長
21		学校施設の非構造部材の耐震化	財務課長
22		県立高等学校における自転車盗難対策	学校教育課参事
23		教員のメンタルケア	福利課長
24		勤務時間の管理、把握	学校人事課長
25		学校運営改善事例集の活用状況	教育政策課長
26		発達障害等の生徒支援調査研究事業によるモデル事業	高校再編整備室長
27		天竜地区新構想高校(仮)への木質ペレット空調の導入	財務課長
28	林 芳久仁 (民主、静岡市清水区)	第90号議案 静岡県一般会計補正予算 高校生被災地ボランティア等活動事業	教育総務課長
29		// スクールカウンセラー活用事業費	学校教育課長
30		放射能測定	学校教育課長 学校教育課参事
31		災害時における文化財の救済体制	文化財保護課長
32		中学校での武道の必修化	学校教育課長
33	蓮池 章平 (公明、沼津市)	英語教育の推進	学校教育課長
34		小学生、中学生、高校生の携帯電話の所持率	学校教育課長 社会教育課長
35		避難所としての学校施設の運営	教育総務課長
36		食育における経済産業部との連携	教育長 学校教育課長
37		天竜林業高校元校長の退職手当に関する取扱い	教育総務課事務統括監

※ 質問・答弁の要旨は別紙のとおり

中学校用教科書及び一般図書調査研究報告書の配布

(学校教育課)

1 作成及び配布の趣旨

中学校用教科書（平成 24～27 年度使用）及び一般図書（平成 24・25 年度使用）の専門的な調査研究結果（各教科書の特長等）をまとめた報告書を各市町教育委員会・各小中学校等に配布し、教科書採択の適正を期す。

2 配布物及び作成部数

- (1) 「平成 23 年度教科書調査研究報告書 中学校」
各教科×600 部（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語）
- (2) 「平成 23 年度教科書調査研究報告書 一般図書」 1,050 部

3 配布対象

政令市を含む各市町教育委員会、市町立・静大附属・私立の各小中学校、県立・静大附属・私立の特別支援学校、文化・観光部私学振興課、教科書センター

4 教科書調査研究報告書の主な内容

- (1) 調査研究対象教科書及び一般図書
文部科学省作成の中学校用教科書目録及び一般図書一覧に登載された中学校用教科書及び一般図書について調査研究を行った。
- (2) 調査研究の観点
次の三つの採択基準をもとに、各教科に応じた観点を設定し調査研究を行った。
 - ア 内容
教科の主たる教材としての内容を具備し、その内容が学習指導要領の教科の目標を達成するために適切であること。
 - イ 組織・配列・分量
内容の組織・配列・分量が、児童生徒の学習にとって適切であること。
 - ウ 児童生徒の発達の段階への配慮
児童生徒、学校、地域等の特性や実態を考慮し、児童生徒の発達の段階に即していること。
- (3) 調査研究内容の要約
上記採択基準をもとに各教科等で設定した観点に基づき調査研究を行った結果（各教科書の特長）についてまとめた。

平成 24 年度静岡県公立高等学校入学者選抜実施要領

(学校教育課)

(趣旨)

平成 24 年度静岡県公立高等学校入学者選抜を実施するに当たり、別添のとおり実施要領を定めた。日程等は以下のとおりである。

1 日程

課 程	実 施 内 容		期 間 及 び 実 施 日	
全日制の課程 及び 定時制の課程	一般選抜 及び 特別選抜	願書受付	2月20日(月)～ 2月22日(水)	
		志願変更受付	2月28日(火)～ 2月29日(水)	
		学力検査等(全日制)	3月6日(火)	
		学力検査・面接等(定時制)		
		面接・実技検査等(全日制)	3月7日(水)	
		追検査受検願受付		
		追検査	3月12日(月)	
	合格者発表	3月15日(木)		
	再募集	願書受付	3月19日(月) 3月21日(水)	
		面接等	3月22日(木)	
合格者発表		3月26日(月)		
単位制による 定時制の課程	一般選抜 (春季選抜)	一般選抜に準じて実施する。		
	秋季選抜	願書受付	平成 24 年	8月14日(火)～ 8月16日(木)
		基礎力検査及び 自由表現等		8月21日(火)、 8月22日(水)
		追検査		8月24日(金)
		合格者発表		8月29日(水)
単位制による 通信制の課程	願書受付	3月16日(金)～ 3月30日(金)		

2 主な変更点

(1) 学校裁量枠において小学科間の併願を認める変更

これまで、学校裁量枠においては第1志望の学科(科)についてのみ選抜の対象としていたが、次のような課題が指摘されていた。

- ・小学科が複数ある学校においては、学校裁量枠の募集定員が少ないため、志願者が特定の学科に偏りやすく、共通枠の合格者数に影響する場合がある。
- ・志願者が特定の科に偏った場合、優秀な生徒であっても学校裁量枠で合格できない。

24年度入学者選抜においては、学校裁量枠において併願を実施する学校で、志願者が併願を希望する場合、第2志望の科まで選抜の対象となることとした。

(2) 単位制による定時制の課程における学力検査の変更

単位制による定時制の課程(三島長陵高等学校、静岡中央高等学校、浜松大平台高等学校)において、午前又は午後の学習時間帯を志願する場合、20歳未満の者に実施する学力検査については、これまで国語、社会、数学、理科、英語(放送による問題を含む。)の5教科から3教科を選択させていた。

24年度入学者選抜においては、他の全日制高等学校が学力検査5教科を課している状況等に鑑み、国語、社会、数学、理科、英語(放送による問題を含む。)の5教科を実施することとした。

(3) 再募集における成績一覧表の提出についての変更

これまで、再募集の志願手続きにおいては、一般選抜と同様、中学校から成績一覧表の提出を求めていたが、24年度入学者選抜においては、手続きを簡素化する観点から、一般選抜において提出した高等学校に対しては、再募集において成績一覧表の提出の必要はないこととした。

平成 24 年度静岡県立中学校入学者選抜実施要領

(学校教育課)

(趣旨)

平成 24 年度静岡県立中学校入学者選抜を実施するに当たり、別添のとおり実施要領を定めた。日程等は以下のとおりである。

1 日程

実 施 内 容		期 間 及 び 実 施 日
入学願書等の受付		平成 23 年 12 月 13 日 (火) ～12 月 16 日 (金)
検査の実施等	総合適性検査及び作文	平成 24 年 1 月 7 日 (土)
	面接	平成 24 年 1 月 8 日 (日)
選抜結果の通知 (小学校長及び受検者本人あてに通知する。)		平成 24 年 1 月 18 日 (水)
入学意思確認期間		平成 24 年 1 月 18 日 (水) ～1 月 24 日 (火)
入学予定者の補充		平成 24 年 1 月 25 日 (水) ～1 月 27 日 (金)

2 主な変更点

小学校外国語活動の実施にともない、調査書に外国語活動の記入欄を設けた。

(件名)

平成23年度「発達障害等の生徒支援調査研究事業」モデル事業の概要

(学校教育課 高校再編整備室)

1 趣旨

知的遅れを伴わない発達障害等の生徒の高校段階での支援のあり方について研究を進めるため、次の事業をモデル的に実施する。なお、本事業は研究であり、新たな高校の開校ではない。

- ① 対人関係の構築に困難のある生徒の自立を支援する講座の開設
- ② 発達障害等がある生徒又はその保護者を対象とした医師等による教育相談の実施

2 講座の概要「コミュニケーション スキル 講座」

(1) 募集期間 平成23年7月12日(火)から8月12日(金)まで

(2) 定員および応募資格

30人程度(15人程度のAグループ・Bグループの2組に分けて実施)

静岡県内の公立高等学校の最終学年(卒業年度)に在籍し、特に対人関係の構築を不得手とする生徒のうち就職を予定しており、本人及び保護者が参加を希望し、在籍校の校長が参加を許可した者。

- * 医療機関等による発達障害等の診断の有無は問わない。
- ** 受講者は学生傷害保険に加入する(保険料は県が負担する)。
- *** 生徒は会場まで、公共交通機関等を利用し、自分で通うことを原則とする。

(3) 開講時期等

- ア 開講期間 平成23年10月8日(土)から平成24年2月25日(土)まで
- イ 開講日 週当たり1日、原則土曜日、各グループ9回(予定)
- Aグループ: 開講期間内の第1・第3土曜日 計9日間
- Bグループ: 開講期間内の第2・第4土曜日 計9日間
- ウ 会場 旧静岡県立周智高校(〒437-0215 周智郡森町森92-1)

(4) 内容(※実費徴収予定)

ア ソーシャルスキルトレーニング等の視点を取り入れた講座

社会上必要とされるスキルを身に付ける学習や、自らの心の動きや感情の変化を知ってコントロールする学習、個々の認知の特性と適切な対応を学ぶ学習などを行う。

回	内容(予定)
1	ガイダンス・自己紹介・目標設定(自己認知)
2~3	集団行動(他者理解、集団参加、指示理解、ルール理解、役割分担)
4~5	セルフコントロール(失敗受容、衝動性制御、感情認知、こだわり対処など)
6~7	コミュニケーション(情報の伝達、聞き取り、質問応答、会話、話し合いなど)
8	仲間関係(仲間認知、仲間関係、遊びの共有、仲間への援助)
9	就労への意識
10~12	ライフスキル(マナー、生活、健康管理・食事、ストレスマネジメントなど)

イ 作業的な内容やグループでの学習等を取り入れた講座

内容（予定）
農業実習（旧周智高校ビニル温室活用による花、野菜等の栽培）
陶芸体験（陶芸、七宝焼きなど）
調理実習（収穫物の調理）
その他（その他製作実習、農家や事業所等との連携による各種作業体験など）

ウ 開講日の日課（予定）

諸連絡（5分）	9:45 ～
講座1（50分）	9:50 ～ 10:40
講座2（50分）	10:50 ～ 11:40
講座3（50分）	12:40 ～ 13:30
講座4（50分）	13:40 ～ 14:30

3 教育相談の概要

(1) 利用対象

県内の公立高校に在籍する生徒（上記講座受講生を含む）およびその保護者
 県内の公立中学校に在籍する生徒およびその保護者

(2) 実施日 上記2の講座開講日の開講時間のうち、午前中2時間及び午後2時間程度

(3) 利用方法 原則として予約制とする。なお、利用料は徴収しない。

予約の受付は、平成23年9月15日（木）以降、利用予定日の一週間前までの間の、平日9:00から16:00までとする。

生徒は、在籍校の職員（学級担任等）を通して電話で申し込む。

保護者は、希望日時を直接電話で申し込む。

※申込先 学校教育課 高校再編整備室 電話番号 054-221-3113

(4) その他

1回の相談時間は1時間以内とし、医師または臨床心理士等による、学校生活、日常生活、卒業後の進路等についての教育相談を実施する。なお、医師による医療行為は行わない。

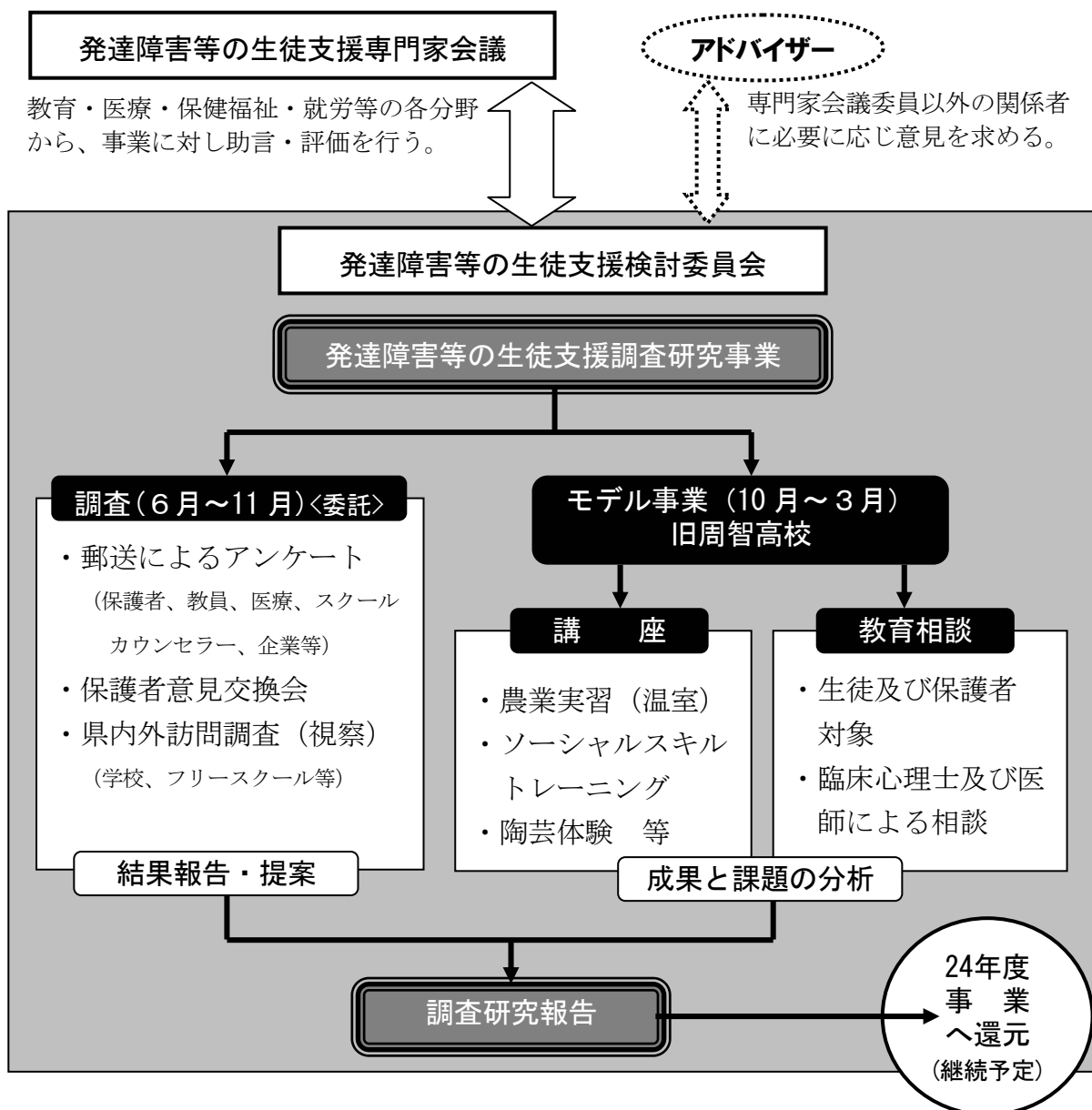
4 当面のスケジュール

	7月	8月
説明等	7/11～7/21 ・関係機関等への説明	7/25 ～8/8 ・地元自治会、周辺施設への説明
準備	7/8～7/14 ・施設調査、工事積算 8/1～8/5 ・工事等の発注 ※什器等の搬入を適宜実施	8/22～8/31 ・ライフライン復旧 ・各種検査 ・内装工事、清掃 ※什器等の搬入を適宜実施 (大規模な搬入作業は伴わない見込み)
その他	講師手配、各種団体との連絡調整	講師手配、各種団体との連絡調整 消耗品等は9月に搬入予定

発達障害等の生徒支援調査研究事業の概要

(学校教育課 高校再編整備室)

知的遅れを伴わない、発達障害等の生徒の高校段階での支援のあり方について、研究を進めるため、「発達障害等の生徒支援調査研究事業」を実施する。



※ 本事業は、今後の施策に資するためにモデル的に実施するものであり、現時点で新たな高校を開校したり、高校にコース等を設置したりするものではない。

※ 本事業に関する問合せ先

静岡県教育委員会学校教育課 高校再編整備室 (電話番号 054-221-3113)

これから社会に出ていく高校生のための コミュニケーション スキル 講座

こんな皆さんのための講座を開きます

- 友達との関係をうまく作ることができない
- 集団活動やグループ学習が苦手
- 就職のための面接がうまくいか不安
- 会社に入ってまわりの人たちとうまくやっていけるか心配

.....

ひとりで悩まないで講座を受けてみませんか？

対人関係を築く術を体験的に学び、高校卒業後の社会的・職業的な自立に役立てるための講座を、主に本年度卒業予定でこれから社会に出ていく公立高校生を対象に、10月から実施します。

保護者の方や在籍している高校の先生と相談し、是非受講してみてください。

1 募集期間

平成23年7月12日から平成23年8月12日まで

2 開講日時

平成23年10月8日から平成24年2月25日までの間の原則として毎週土曜日
このうち、隔週の計9日間を受講します（年末年始は休みです）。

3 会場

旧周智高校校舎 周智郡森町

4 講座の内容

- ・ソーシャルスキルトレーニング、ライフスキルトレーニング等の講座
（自分を知り、人間関係を築き、社会生活を円滑にするスキルを身につけます）
- ・農業実習、陶芸実習などの体験を伴う講座

5 備考

- ・募集要項は、すべての静岡県内の公立高校に配布してあります。
- ・申込みにあたっては、在籍する高校の先生と相談をしてください。
- ・講座へは原則として公共交通機関を利用し、自分で通ってください。
- ・講座受講料は無料ですが、講座への参加に要する交通費などのほか、花や野菜の苗、陶芸用粘土など各自が持ち帰るものについては費用を負担していただきます。

モンゴル青年交流

(社会教育課)

1 概要

本事業は、静岡県とドルノゴビ県の青年の交流を通して、本県が進める地域外交の担い手となる青年リーダーを育成するとともに、青年相互の理解と友好の促進を図ることを目的に実施する。

2 モンゴル青年交流 現地交流内容 (案)

(1) 全体日程※詳細日程は、別紙「モンゴル青年交流 現地交流日程(案)」を参照

項目	開催月日	会場	内容
現地交流	7月27日(水) ～8月1日(月)	ウランバートル ドルノゴビ	ドルノゴビ県創県80周年記念式典 青年交流 (JICA日本センター等) 自然・文化体験活動 他

(2) 主な交流内容

ア ドルノゴビ県創県80周年記念式典参加

公式訪問団の一団としてドルノゴビ県の創県80周年記念式典に参加し、夏の祭典と呼ばれる「ナーダム(*1)」や祝典コンサートへ出席する。

イ J I C A 日本センター

J I C A ((独)国際協力機構)がウランバートルで運営している日本の情報発信や日本語教育を行っているセンターを視察する。

また、日本語教室に通っている大学生等と意見交換会を行い、相互理解を深める。

ウ ドルノゴビ県内青年交流

音楽交流や植林活動など文化・自然に関する体験活動の交流を提案している。

エ モンゴルガールスカウト表敬

(社)ガールスカウト日本連盟静岡県支部より参加している青年1名が、モンゴルガールスカウトを表敬訪問。今後、新たな交流パートナーとして期待を寄せている。

【参考】静岡県青年交流団



- ・構成 静岡県青年交流団 11名 (事務局4名、青年7名)
団 長 静岡県教育委員会教育長
副団長 静岡県教育委員会社会教育課長
※現地で私学協会関係者4名合流

(*1)「ナーダム」

革命記念日7月11日、12日を中心に行われる年に一度の国を挙げての祝祭。国、県、郡の中心でそれぞれ行われ、毎夏、相撲、弓射、競馬などが行われる。

モンゴル青年交流 現地交流日程（案）

月日	7月27日（水）	7月28日（木）	7月29日（金）	7月30日（土）	7月31日（日）	8月1日（月）
	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
朝食		バヤンゴルホテル	ツーリストキャンプ	ツーリストキャンプ	車内	バヤンゴルホテル
午前		(8:30ホテル発) 青年交流 (JICA日本センター)	10:00 ドルノゴビ県創立 80周年記念式典 開会式	サインシャンド市内視察	9:25 ウランバートル駅着 ホテルにて支度	11:00 搭乗手続き開始
昼食		ウランバートル市内レストラン	サインシャンド市内レストラン	サインシャンド市内レストラン	ウランバートル市内レストラン	飛行機内
午後	17:00 富士山静岡空港集合 17:30 公式訪問団結団式 18:30 搭乗手続き開始 19:30 富士山静岡空港発	青年交流 (ウランバートル市青少年教育施設)	青年交流 (ドルノゴビ県社会発展局)	サインシャンド市内視察 18:30 ドルノゴビ県創立 80周年記念式典 閉会式	モンゴルガールスカウト表敬訪問 ウランバートル市内視察	13:30 成吉思汗国際空港発 18:30 富士山静岡空港着 19:30 青年交流団解団式
夕食	飛行機内	ウランバートル市内レストラン	サインシャンド市内レストラン	20:00 「サインシャンドの夕べ」祝賀会	18:00 県民交流団懇親会	
夜	23:20 成吉思汗国際空港着 0:00 ホテルへバスで移動 (0:30～) ホテルチェックイン	20:00 ウランバートル駅発 (寝台列車) 3:57 サインシャンド駅着	20:00 祝典コンサート	23:30 サインシャンド駅発	ウランバートル市内視察 (デパート、スーパー)	
宿泊	バヤンゴルホテル	車中泊～ツーリストキャンプ	ツーリストキャンプ	車中泊	バヤンゴルホテル	

 公式訪問団行事
 青年交流

(件 名)

「夏休み子ども図書スペシャル」の開催

(県立中央図書館)

1 趣 旨

夏休みの子どもの学習支援及び当館資料の活用促進を目的とする。

当館の閲覧室、子ども図書研究室には、多数の子ども向け参考図書や絵本等が所蔵されている。

こうした資料を子どもたちに十分活用してもらい、夏休みの学習などに役立ててもらうとともに、各種体験講座の実施を通して、学ぶ意欲の醸成や発展的な学習へと繋げる契機とする。(平成 23 年度新規イベント)

更には、埋蔵文化財センターの参画で体験学習の幅を広げ、子どもたちの関心を一層高めるとともに、関係機関の連携協力を一層推進する。

2 実施内容

(1) 実施日 平成23年 8 月 5 日 (金) ～ 8 月 7 日 (日)

(2) 会 場 県立中央図書館

学習コーナー、中集会室、インフォメーションホール等

(3) 内 容

ア 子ども学習コーナー 参考資料等の閲覧・貸出し

- ・通常の学習コーナーを移動し、子どもの参考資料や絵本を閲覧、貸出しする特別コーナーを設定する。

イ 「夏だ！カブトムシ・クワガタムシなんでも教室」

- ・講師 井口繁和 (三ヶ日高)
- ・ペットボトルを用いたカブトムシ幼虫の育成セットの作成及び昆虫に関するレクチャー。

ウ 「折り紙で遊ぼう！」

- ・子どもが作って遊べる折り紙教室

エ 「センター☆大創業祭 Back to the 古代」(埋蔵文化財センター実施)

- ・勾玉作り、織物体験等の体験講座

オ 昆虫標本展示 (県企画広報課連携)

カ 「輝く！郷土の偉人展」(県文化政策課連携)

- ・パネル展示 (7 月 30 日～8 月 30 日)

※ 関係団体：7 日 親子手作り絵本教室(読み聞かせネットワーク)

報告事項

平成 23 年 7 月 21 日

(件 名)

8 月の主要行事予定

日 時	行 事 名	会 場 等
8 / 3 (木) 終日	◎教育委員会定例会 (8 月第 1 回)	県庁西館 7 階 教育委員会議室
8 / 22 (月) 午後	◎教育委員会定例会 (8 月第 2 回)	県庁西館 7 階 教育委員会議室

○委員長、◎全委員

(件 名)

県立学校の放射性物質の調査結果

(学校教育課)

1 要 旨

平成 23 年 7 月 11 日 (月) から 14 日 (木) までに、抽出した県立学校 27 校の放射能調査を完了した。グラウンドの放射線量は 0.03~0.08 マイクロシーベルト毎時($\mu\text{Sv/h}$)の値であり、これは、平成 19 年度から平成 21 年度までの文部科学省による全国の環境放射能水準調査結果の範囲内にあり、健康への影響を心配する必要がないレベルだった。

また、プール水の放射能測定の結果、セシウム、ヨウ素ともに、不検出 (検出限界 10 ベクレル/kg) であり、プールを使用することによる健康への影響を心配する必要はない。

2 測定結果

区分	学校名	所在地	グラウンド測定値($\mu\text{Sv/h}$)※			プール水測定値(ベクレル/kg)☆		
			1 m	50cm	1cm	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
東 部 地 区	下田高校	下田市	0.03	0.03	0.03	不検出	不検出	不検出
	松崎高校	賀茂郡松崎町	0.03	0.03	0.03	不検出	不検出	不検出
	稲取高校	賀茂郡東伊豆町	0.04	0.04	0.04	不検出	不検出	不検出
	伊東高校城ヶ崎分校	伊東市	0.05	0.05	0.05	不検出	不検出	不検出
	熱海高校	熱海市	0.07	0.07	0.08	不検出	不検出	不検出
	土肥高校	伊豆市	0.03	0.03	0.04	不検出	不検出	不検出
	伊豆総合高校	伊豆市	0.03	0.03	0.04	不検出	不検出	不検出
	沼津商業高校	駿東郡清水町	0.03	0.03	0.03	不検出	不検出	不検出
	富士宮西高校	富士宮市	0.04	0.04	0.05	不検出	不検出	不検出
	御殿場特別支援学校	御殿場市	0.03	0.03	0.03	不検出	不検出	不検出
	沼津特別支援学校	沼津市	0.03	0.03	0.03	不検出	不検出	不検出
	富士特別支援学校	富士市	0.04	0.04	0.05	不検出	不検出	不検出
中 部 地 区	庵原高校	静岡市清水区	0.03	0.03	0.03	不検出	不検出	不検出
	清水南高校	静岡市清水区	0.05	0.05	0.04	不検出	不検出	不検出
	藤枝東高校	藤枝市	0.07	0.07	0.07	不検出	不検出	不検出
	島田高校	島田市	0.06	0.06	0.06	不検出	不検出	不検出
	川根高校	榛原郡川根本町	0.07	0.07	0.08	不検出	不検出	不検出
	榛原高校	牧之原市	0.05	0.05	0.05	不検出	不検出	不検出
	静岡聴覚特別支援学校	静岡市駿河区	0.07	0.07	0.07	不検出	不検出	不検出
	静岡北特別支援学校	静岡市葵区	0.05	0.05	0.05	不検出	不検出	不検出
西 部 地 区	小笠高校	菊川市	0.05	0.06	0.07	不検出	不検出	不検出
	春野高校	浜松市天竜区	0.07	0.07	0.07	不検出	不検出	不検出
	袋井商業高校	袋井市	0.05	0.05	0.06	不検出	不検出	不検出
	佐久間高校	浜松市天竜区	0.06	0.06	0.07	不検出	不検出	不検出
	湖西高校	湖西市	0.06	0.06	0.06	不検出	不検出	不検出
	天竜特別支援学校	浜松市天竜区	0.06	0.06	0.06	不検出	不検出	不検出
	浜松聴覚特別支援学校	浜松市中区	0.07	0.07	0.08	不検出	不検出	不検出

※ 平成 19 年度~平成 21 年度の文部科学省による全国の環境放射能水準調査の測定結果

最小値 : 0.013 $\mu\text{Sv/h}$ (沖縄県)、最大値 : 0.153 $\mu\text{Sv/h}$ (新潟県)

※ グラウンドの放射線量は大地からの自然放射線は測定しているが、宇宙からの放射線は除外している。

※ シーベルトとは、人の体が放射線を受けた時、その影響の程度を測るものさしと使われる単位。

μSv (マイクロシーベルト/時間) 1mSv (ミリシーベルト) = 1,000 μSv

☆ 水浴場利用の指針値 (環境省) ・ ・ 水 10 当たり、セシウム 50 ベクレル、ヨウ素 30 ベクレル以下

☆ ベクレルとは、放射性物質の量をあらわす単位。1 秒間に 1 個の原子核が崩壊して放射線を出すことを 1 ベクレルという。